

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

愛媛県

学校名

松山市 番町小学校

人権課題

子供

対象学年・
取り扱った教科等

全校・特別活動

目標・人権教育のねらい

- ・一人一人を大切にしようとする心情を高めるとともに、友達とよりよく関わろうとする気持ちや、様々な人権問題の解決に向けた行動力や実践力を高める。

実施した内容

- ・いじめや新型コロナウイルス感染症に係る問題など、様々な人権課題をテーマにした人権集会を行い、人権問題の解決に向けた主体者であるという自覚を高め、人権感覚を磨き合った。
- ・運営委員会を中心にして「いじめSTOP番町っ子宣言」を作成し、集会を開いた後その実践に向けて各クラスで話し合った。
- ・「人間関係力向上プログラム」を実施し、いじめや不登校の未然防止につなげるため、よりよい関わり方について意見交流した。
- ・人権に関するテーマで委員会による集会を行った。（保健委員会・図書委員会）
- ・縦割り班で清掃や遊びを行い、異学年との交流を深め、よりよい人間関係を育んだ。

工夫した点

- ・それぞれの人権集会を低・中・高学年部が担当し、人権に関わるテーマで人権集会を企画・運営した。
- ・集会後は振り返りの時間を設定し、感想を発表したり自分にできることを考えたりした。
- ・集会後の振り返りや道徳のワークシート、今月の詩などを各学級の人権コーナーに掲示したり、全校放送で紹介したりして、啓発に努めた。
- ・ハイパーQUテストを実施し、子供の満足度や実態を把握して指導にあたった。

他教科との
関連

- ・道徳科や学級活動において、いじめについて考えたり、いじめをなくすためにどう行動すればよいかについて話し合ったりした。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

愛媛県

学校名

松山市 番町小学校

人権課題

高齢者

対象学年・
取り扱った教科等

小学1年生・生活科

目標・人権教育のねらい

- ・昔から伝わる遊びを一緒にする中で、地域の高齢者と関わったり触れ合ったりすることのよさに気付かせる。

実施した内容

- ・祖父母の暮らしぶりやエピソードを紹介したり、昔から伝わる遊びについて調べたりする。(1時間)
- ・地域の高齢者のことを事前に話しておき、お土産(プレゼント)をつくる。(1時間)
- ・自己紹介し合い、遊びのこつを教えてもらう。
- ・楽しかったことや新たに発見したこと等を発表する。 } (1時間)
- ・お土産を一人一人に渡す。
- ・活動を振り返り、学級全体で共有する。 } (1時間)
- ・手紙を書く。

工夫した点

- ・活動にあたり、地域の高齢者の方のことを話したりお土産をつくったりすることで、来校を期待して待てるようにした。
- ・事前に高齢者の方と話し合う機会をもち、活動の内容や準備などについて相談した。
- ・昔から伝わる遊びの時間を十分にとることで、遊びを覚えてもらったり褒めてもらったりして関わり合うことのよさを味わわせた。

他教科との
関連

- ・道徳科では、同和問題学習資料「きょうだい」(愛媛県同和教育協議会編)の「じいちゃんの手」にて、働く人への尊敬・感謝の気持ちや高齢者の生き方について学習をした。
- ・国語科「こころぼかばか手みがみをかこう」において、感謝など自分の気持ちを手紙で伝える学習をした。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

愛媛県

学校名

松山市 番町小学校

人権課題

障害者

対象学年・
取り扱った教科等

小学4年生・総合的な学習の時間

目標・人権教育のねらい

- ・ 障害者に対する偏見や思い込みを取り除き、障害者の人権を尊重し、共に生きていく意識を育てる。
- ・ 障害者を支援している機関の取組について理解を深める。
- ・ 自分たちができることを話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりする。
- ・ 障害者に対する思いやりの心を持ち、親切にする意欲・態度を養う。

実施した内容

- ・ 家庭や地域での障害者が抱えている課題について詳しく調べる。（5時間）
- ・ 視覚障害者、肢体不自由者や地域包括支援センターから課題や取り巻く状況などについて話を聞く。疑似体験を行い、障害者に対する理解を深める。（3時間）
- ・ 調べ学習や体験を通して学んだことをまとめ、自分たちにできることを考える。（5時間）

工夫した点

- ・ それぞれの立場を考えたノーマライゼーションと関係があることに気付かせるために、国語科で学習した「便利」を想起させた。
- ・ 「住みやすい町（番町）」の実現のために自分たちにはどのようなことができるか話し合う時間を確保した。
- ・ 自分なりの考えを話せるように、障害のある人の講話や疑似体験したことを想起させた。
- ・ 児童の意見から、「住みやすい町」とはどのようなものか考えさせた。

他教科との
関連

国語科にて、バリアフリーやユニバーサルデザインについて学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

愛媛県

学校名

松山市 番町小学校

人権課題

インターネットによる人権侵害

対象学年・
取り扱った教科等

小学5年生・道徳科

目標・人権教育のねらい

- ・ ネットいじめを防ぐために大切なことに気付き、誰に対しても差別することなく公正・公平な態度で接しようとする判断力を育てる。
- ・ クラス全体でいじめの起こりにくい雰囲気をつくることの大切さに気付かせる。

実施した内容

- ・ ネットいじめの恐ろしさを知り、直接的ないじめに比べると、ネットいじめは見えにくく、複雑で防ぎにくいことに気付くようネットいじめに関する動画を見て、話し合う。
- ・ ネットいじめを防ぐ方法について考える。
- ・ これから携帯電話をどのように使っていきたいか考える。

工夫した点

- ・ 愛媛県で実際に起こったネットいじめの動画を視聴し、身近な問題であることに気付かせた。
- ・ ネットいじめを防ぐ方法をグループで話し合い、学級全体で共有し合うことで、ネットいじめを許さない雰囲気づくりを行った。
- ・ 活動にあたり、人権教育に視点をあてた評価の規準を設定した上で行った。

他教科との
関連

- ・ 総合的な学習の時間における「いのちの教室」において、命の大切さについて学習した。
- ・ 道徳科において、いじめについて学習した。
- ・ 情報モラル教室で情報の正しい取り扱いについて学習した。

令和3年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・
指定都市名

愛媛県

学校名

松山市 番町小学校

人権課題

同和問題

対象学年・
取り扱った教科等

小学6年生・道徳科

目標・人権教育のねらい

- ・差別や偏見が脈々と続いていることや不合理なことがこの世の中にはあるということ、どんな差別を受けていたかなど、当時の被差別部落の人々の暮らしを知る。
- ・差別のない社会の実現に向けて、差別の不合理さに気づき、差別をなくすために行動しようとする態度を身に付ける。

実施した内容

- ・資料を読み、気になる言葉や疑問、難しい言葉や関係性を整理し、内容を理解する。
(1時間)
- ・農民が飢餓に苦しむ場面について話し合う。
- ・自分が村人なら農民を助けるかを話し合う。
- ・「村人会議」を設定し、話の内容を自分事として捉える。
- ・山の粥を振る舞った場面について話し合う。
- ・村人の生き方から何を考えたか、差別に出合ったときどうしようと思うか、自分の考えをまとめる。

(1時間)

工夫した点

- ・社会科で同和問題について焦点的に扱うことにより、差別に対する意識を高めた。
- ・自分だったらという立場で考えさせ、自分の問題として捉えさせた。
- ・名前磁石を黒板に貼らせたり、ロイロノートを使ったりして、立場を明確にして考えられるようにした。
- ・「村人会議」を設定し、話の内容を自分事として捉えさせた。

他教科との
関連

- ・社会科の歴史の学習と関連付けながら学習の計画を立てた。
(室町時代「枯山水」、安土・桃山時代「検地・刀狩り」、江戸時代「身分制度」「蘭学」)